



堀 ほり

絹子 きぬこ



概要

氏名 堀 絹子

推薦団体 熊本市

主な活動地 熊本市

本賞

堀絹子氏は、熊本県の伝統的工芸品に指定されている「染織物」を四十九年にわたって制作されている染織家です。

氏は、昭和四十四年、熊本国際民藝館館長であった外村吉之介氏の倉敷本染手織研究所で染織について厳しい教えを受け、その後、沖縄県で琉球絣を、岩手県で羊毛の手紡等の技術を学びました。

沖縄県から帰熊後、昭和四十六年に熊本市に「真弓工房」を設立され、伝統的な染織の技法を大切にしながら、新しい作品作りにも挑戦されています。染織の技術を習得するには十年以上の修業が必要と言われていますが、伝統的な染織を伝えるため後進の指導育成にもあたっておられます。

このように、氏は、伝統的工芸品である「染織物」の保存継承を通じて、本県の文化振興に大きく貢献されています。

これまでの主な活動歴

昭和四十四年 「倉敷本染手織研究所」に入り、活動を始める

昭和四十五年 沖縄県で琉球絣の技術を学ぶ

昭和四十六年 熊本市に「真弓工房」設立

昭和四十九年 岩手県で羊毛の手紡等の技術を学ぶ

平成二十二年 国展 奨励賞 受賞

平成二十八年 国展 会友賞 受賞

平成三十年 「染織物」が熊本県伝統的工芸品に指定

役職

- ・ 国画会準会員
- ・ 熊本県美術協会会員
- ・ 熊本伝統工芸協会会員
- ・ 一般社団法人くまもと工芸協会会員